

# 校内研修計画

甲州市立大和小学校

## 1 学校課題

大和地区は自然に恵まれており、周囲を山に囲まれた静かな地域である。地域の中央を高速道路が走り、幹線道路も交通量が増加し春や秋など観光客が多数訪れ、賑わいを見せる。大和町は武田家終焉の地としても知られており、多くの史跡が点在する古い歴史を持つ町である。

本校は、児童数が少ないため人間関係も固定されがちであり、多様な意見や価値観に触れる機会が少ない。決まったことや指示されたことに一生懸命に取り組むことはできるものの受け身になりがちで、自ら考え、主体的に取り組もうとする姿勢は十分だとは言えない。また、学校を離れ地域に帰ると、同年代がほとんどいない状態となる児童も多い。そのためか、人との関わり方や円滑なコミュニケーションがとれない児童も見られる。そこで、様々な機会を捉え、児童会の集会活動での縦割り活動や、複式学年の合同授業などの交流を通して、人間関係を築く能力や社会性を育み、異年齢集団の中で共に助け合うことができる環境作りを進めている。

## 2 研究主題

「学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」

～ 対話的な学びの実現に向けた授業づくりを通して ～

## 3 主題設定の理由

本校では、昨年度まで、学習支援型のコミュニティ・スクールの確立を目指し、より実践的な取り組みを行った。実践を通して「単元構想表」「ボランティアリスト」の充実・見直しに取り組んだ。「学習成果発表会」では、児童が地域の良さを伝えるという目的を持ち、相手意識を持ちながら活動に取り組み、大きな成果を上げた。また、研究授業・一人一実践を通して、「自分の考えを持ち、記述する。そして意見交換を通じて考えを深める」授業改善に取り組んだ。研究授業では、学習支援ボランティアと連携した学び合いの授業づくりについて研究を深めることができた。一人一実践では、児童の伝え合う活動の充実を図ることができた。

これまでの研究の積み重ねにより、全学年の児童の意欲的に学ぶ姿を多く見る事ができた。学んだことを他者に発信していくための効果的な表現力についても各学年の発達段階にそって身につけることができた。しかし「意見交換を通じて考えを深める」には、まだ課題があり、児童が考えを深めていけるような教員側の投げかけの工夫も必要であるという課題も出てきた。そこで今年度は「主体的・対話的で深い学び」の「対話」ということに重点を置き、対話的な学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいくことにした。

また、今年度も「甲州市確かな学力プロジェクト」の取り組みと連携しながら、意欲的に学ぶ学習集団づくり、家庭と連携した学習環境づくりを進めていく。

学習集団づくりに関わっては、昨年度、QU検査の実施・分析を全職員で行うことで、全学年の実態を知り、問題点に対して様々な視点から解決法を探ることができた。また、学習規律について、児童評価の方法を見直し、評価規準を設けたので、児童がよりわかりやすく意識して取り組むことができた。今年度も継続して取り組んでいきたい。

学習環境づくりに関しては、自主学習強化週間やスタンバイの時間を設けることで、児童の関心や意欲が高まり、自主学習をスムーズに進めることができている。しかし、取り組みには個人差があった。今年度は、個に応じた指導をし、児童が自主学習にしっかりと取り組めるようにしていきたい。

#### 4 研究の具体的内容与方法

##### 【研究①】対話的な学びを取り入れた授業づくり

具体的な内容与方法	ア 研究授業及び研究会 イ 一人一実践授業 ウ 講師を招聘しての学習会
変容の見取り	授業観察, 学習ノート等の記録, 学習感想

##### 【研究②】意欲的に学ぶ学習集団づくり

具体的な内容与方法	ア 大和小学習のきまりの定着 イ Q-U 調査の分析, 対策 (K-1 3法)
変容の見取り	児童観察, 「大和小学習のきまり」アンケート, Q-Uの結果

##### 【研究③】家庭と連携した学習環境づくり

具体的な内容与方法	ア 大和小自主学習の取り組み イ 自学に関するアンケートの実施 (自主学習の回数・方法・内容など) ウ 大和小自主学習スタンバイの取り組み
変容の見取り	自主学習に関するアンケート, 児童の感想等

## 年間校内研修計画

研究主任 飯室 美華

研究テーマ	研修内容	教科	担当	学年	授業時期	T・C 要請
学び合い高め 合い意欲的に 学ぶ児童の育 成 ～対話的な学 びの実現に向 けた授業づく りを通して～	今年度の研究計画		研究主任・部長		4月	
	部会の提案		部長		5月	
	K-1 3法		研究主任		6月	
	講師を招聘しての学習会		研究主任		6月	○
	NRT検査の分析		研究主任		7月	
	特別支援教育に関する学習会 保小の連携 (大和保育所の視察) 各部会研究		研究主任・部長		7・8月	○
	教育課程還流報告会・部会研究		各担当・部長		8月	
	全国学力・学習状況調査の問題分析		研究主任		9月	
	研究授業・研究会	道徳	廣瀬尚子	5年	10月	○
	K-1 3法		研究主任		11月	
	一人一実践	各教科	授業者	各学年	9～11月	
	研究のまとめ		研究主任・部長		12月	
	本年度の成果と課題		研究主任		1月	
	来年度の研究について		研究主任		2月	
研究紀要作成		研究主任		3月		